

宝井琴梅 講談協会会長就任記念



たから い きん ばい  
辻 講 釈 宝 井 琴 梅

辻 講 釈 を 楽 し む 会



地元本庄が生んだ盲目の国学者、  
塙保己一を講談で

第七弾・講談会

演題

塙二代次郎暗殺の顛末

保己一の息子

堺正一原作

てん まつ

塙次郎を斬ったのは



伊藤博文

井上勝

遠藤謹助

山尾庸三

井上馨

長州ファイブ：幕末に長州藩から派遣されてヨーロッパに秘密留学した、井上聞多（井上馨）、遠藤謹助、山尾庸三、伊藤俊輔（伊藤博文）、野村弥吉（井上勝）の5人の長州藩士を長州五傑（長州ファイブ）と呼んだ。

長州ファイブ（長州五傑）の一人、山尾庸三はイギリスに留学し帰国すると鉄道、電信、造船などを統括する工部省の創設、工部大学の設立に尽力をしたので「工学の父」と呼ばれた。その山尾が障害児のための学校設立を明治新政府に求めた、また日本聾啞協会が出来ると初代総裁に就任など、畑違いの障害児教育に精力をつぎ込んだ。それはなんだったのか、今回の辻講釈はそのナゾ解きの一席です。

令和3年7月24日 土

〈会場〉旧本庄商業銀行煉瓦倉庫  
埼玉県本庄市銀座1丁目5-16 (Tel.0495-71-6685)

〈開場〉午後1時30分

〈開演〉午後2時



チケット  
1,000円

主催●「塙保己一を講談で聴く会」実行委員会

お問い合わせ事務局●高橋和美 080-5536-2475 阿奈正子 090-8741-9998